

# いわくら橙（だいたい）会

岩倉市議会議員 堀江たまえ



## 《ごあいさつ》

2022年7月の参議院選挙では、三重県から出馬をしました。それから政治の道へ進むか悩みましたが、18年間住んでいる岩倉市から立候補の決意をし、4月岩倉市議会選挙でご支援を賜り、代弁者として議会議員をさせていただくことになりました。季節は春から夏、秋へと変わり、いかがお過ごしでしょうか？  
市民感覚を忘れないために、今でも看護師の仕事は続けての議会活動です。  
5月の臨時議会が始まり、6月の定例議会、9月の定例議会が終わり、勉強の日々です。

## コロナ対策への質問！

5類感染症になったからこそ振り返ってみよう

----- 6月・9月と2回にわけて質問

新型コロナワクチンのメリットよりデメリットが勝るのでは？という提言がある。接種後に死亡した例もあり、中学生児童に対しては、法医学医が「因果関係」を認定している。**国から示される情報だけでなく、メリットだけでなく、市独自でもデメリットを伝えてください。**

⇒市としては、注射部の痛みや発熱、アナフィラキシーなどの副反応があることを認めている。極めてまれに接種後障害が残る健康被害が生じる場合がある。だが、新型コロナワクチンは効果が副反応を上回っており、影響を与える重大な懸念は認められないと国からの見解に評価を示している。国から新たな情報が示されたら、速やかに情報提供をしていくとのこと。

令和3年度から令和5年5月末までに予防接種健康被害救済制度を紹介したのは、6名いた。県が設置しているワクチン関連相談窓口の相談件数は令和4年度愛知県全体で7,338件あった。**市のホームページなどでも関連ページを探すことが困難だった。接種券を送付される際もわかりやすいようにしてください。**

⇒すぐに、市のホームページから探しやすいうようにトピックのトップにあげられ検索しやすく改善された。

学年があがるにつれ、マスクの着用率が高い。岩倉市の小学生・中学生はどうか。個人の判断で外すとなっているが、マスクをつけたい理由が「みんな

なつけているから」がある会社が行ったアンケート結果にも出ている。外せなくなった背景には、屋外では外してよいと言われた時期に外せなかったのとは、ちょっと事情が異なっており、問題が複雑になっている。コロナ前は、世界中で多くの試験をし、結果呼吸器ウイルス感染症に対してマスクは「**効果がない**」と言われてきた。WHOもインフルエンザの感染予防効果がないとしてきた。マスクの性能は変わっていないのに、**コロナウイルス流行後には、「効果が高い」**と**なった**。これまでの常識を覆すほどの研究結果が得られていないのに、マスクの評価が大きく変わった。マスク着用により「口呼吸」になり、喉や口が乾燥することから免疫力が下がる。また、表情から学ぶことができず情緒形成への障害になったり様々なデメリットがある。**マスクを外す取り組みを考える時期！**

⇒先生が積極的に外すように心がけている。中学生は、部活動など外す場面が増えてきている。マスクを外したことによるウイルス感染症にかかる児童生徒が増えたことを考えると一定の予防につながっていた。中学生はテスト前や入試前などにマスクを着用することで感染しにくいという安心感を得られるメリットもある。デメリットは表情がわかりづらかったり、コミュニケーションがとりづらくなり、熱中症などの危険性が高まることがある。様々な考えや事情があるため、着脱を強いることがないよう、適切な指導をしていく。

## 視察に行ってきました

----- 新人研修お世話になってる施設巡り

### ・尾張北部霊園

犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町の3市2町による共同施設。  
**ペットとのお別れに焼香台が新しくなり、お線香によるお別れができるようになりました。**  
待合にあった喫茶店がなくなり、自動販売機を増やす予定。

### ・エコルセンターと最終処分場

8年ほど前に新しくなり、以前は焼却方式から溶融いわゆるゴミを溶かすようになって埋め立て地にもっていくゴミの量も減りました。さらに、処理されたゴミは資源としても生まれ変わる仕組みになっている。



### ・愛北クリーンセンター

人間の排泄物を集めて有機肥料に変えて、その肥料は三重県などに運ばれていき利用されている。  
尾張北部霊園と同じ3市2町による共同施設。

### ・岩倉市学校給食センター・ゆめミール

アレルギー除去食にも対応。お味噌も愛知県産。お米は岩倉産。野菜はなるべく愛知県産を使っている。衛生面も気を付けており月2回検査し、安心・安全な給食を提供している。**コオロギ粉末は今後も使う予定なし！**

----- 尾張中北消防指令センター

岩倉市でも消防署はありますが、救急・消防の連絡はこちらで一手に担っている。スマホを活用して、救急時対応のアドバイスもしてくれる。





## 視察に行ってきました

----- 株式会社バイオス小牧

食品廃棄物を各業者から受け取る  
↓  
発酵させ、メタンガスを生成  
↓  
電気を作る

もう一方で燃やした食品廃棄物でメタンガスの残り、いわゆる汚泥と呼ばれるものを有機肥料として再利用する。

有機肥料として改良が必要と言われており、農家さんと連携をして、使えるものにしていきたいと話されていました。



全国で5か所あるうち、小牧市が一番規模が小さい！



新城市まで議員で応援に行ってきました  
結果は4位でした

# 来年は介護保険制度が見直し

介護保険料が高い！これからは地域で支え合いを！

-- 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける！

2025年には団塊世代が75歳以上となる。2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、人口にピークを迎える。地域では人口が減少してくるため、地域のニーズに応じた柔軟なサービス提供が必要となってくる。今回の見直しによって、より地域で支えていくという形が浮き彫りとなった。また、介護を支援される側と支援する側のバランスも崩れてきている。**岩倉市においても75歳以上の後期高齢者（介護リスク高い）の増加割合はどうか？**⇒増加傾向にある。岩倉市では3つの「居場所」のあるまちづくりを基本目標としている。その中で、地域共生社会の実現に向けた地域ケアシステムの構築をしている。そこで、地区サロンなどの「通い場」の積極的な推進をしている。**現在の状況はどうか？**⇒3か所が休止しているが、毎月開催しているサロンから月1,2回開催と様々である。

また、通い場に出てこれない、「加齢により心身が老い衰えた状態」の方を少しでも足を運んでもらうことが課題と考える。いち早く介入することで生活の質を保ち、健康な状態に戻る可能性があるからである。現在は岩倉市がメインで動いているが、多様な取り組みをしていくために、中学校区で地域が主体となって動くことが大切と考えるが、まだほとんどの方はどんな制度かを知らない。**生活支援コーディネーターを配置して活動状況は？**⇒地域ケア個別会議や連携交流会に参加し、複合的課題についての検討や情報共有を行う、ネットワークの構築を図った。今後住み慣れた地域で住み続けるために、犬山市の事例も参考にしながら運営の在り方を進めていきたい。

**「できることの継続」と「改善可能なことを増やす」支援により、高齢者の自立度が高まれば、介護保険料の軽減にも繋がっていくのではないかと考えられる。中学校区での地域主体活動への体制に力をいれたい。**

# 岩倉市ふれあいトーク開催！

市議会議員と話そう！思いを届けよう！



**11月17日はまちづくりに興味がある方！**

場所：岩倉市市民プラザ多目的ホール  
時間：19:15～21:00  
(受付開始：18:45)  
参加条件：市民団体活動団体・一般  
参加費：無料  
申込み：NPO法人ローカル・ワイド・ウェブいわくら 080-2573-7387

**11月23日は若者限定に企画！！**

場所：生涯学習センター 研修室1・2  
時間：10:00～11:30  
(受付開始：9:30)  
参加条件：中学生から社会人（概ね30歳以下）  
参加費：無料  
申込み：岩倉市事務局 38-5820

「岩倉市でこんなことができたらいいな」「もっと岩倉市のことを知りたい！」「議員さんってどんなことをしているの？」「議員さんの得意分野は？」など皆様のお声をぜひこの機会に聞かせてください！当日はグループになって話し合いをする予定です。また、**議員全員参加**する予定です。

発行元：岩倉市議会議員  
参政党 堀江たまえ  
TEL：050-5276-4458  
Email：horie.tamae@gmail.com

お困りごと・ご質問・ご意見など、お気軽にお問い合わせください！



----- 決算ってな～に？

前年の3月議会で通った予算がどのように使われたかの活動実績です。9月議会では、**内容を審査して適切かどうかを確認**します。これが今後の予算を決めるときに参考にさせていただきます。議会で、慎重に検討をして、認定をします。認定がされたあとは、**市民の方へ公表**されます。HPを確認してみてくださいね